

『モビリティのエネルギーとプラットフォーム学』

～100年に一度の変革期を迎えた人・モノが移動するためのエネルギー～

EVの普及を支える充電プラットフォームは 社会を、ビジネスをどう変えていくのか？



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環としてセミナーを開催しています。第21回はカーボンニュートラル社会実現のため大きな変革期にあるモビリティのエネルギーがテーマ。電気自動車など新たな動力源を利用するモビリティの活用に充電設備サービスの充実が欠かせません。それらが普及していく今後の社会は、ガソリンスタンドなど既存の社会インフラの姿から、移動手段やモビリティ所有自体の多様化、MaaSにより生まれる新たな利便性や体験価値などを踏まえたプラットフォームへと変貌していくことが予想されます。今回のセミナーではEV普及を切り口に、モビリティおよび新たなエネルギーと私たちの関わり方が今後どのように変わっていくのかを識者らが議論します。

イベント概要

- 開催：2023年6月20日(火)
- 時間：16:45～18:45(履修生は19:15終了予定)
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院プログラム
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーに参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。



お申し込みはこちら
(6月20日12時締切)

登壇者

田中喜之氏 ENECHANGE株式会社 執行役員
 舘内端氏 一般社団法人日本EVクラブ 代表理事／自動車評論家
 原田博司教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター



KUSP
Kyoto University School of Platforms

京都大学
プラットフォーム学卓越大学院プログラム